

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 1 月 15 日 (2015.1.15)

【公開番号】特開 2012-142570 (P2012-142570A)

【公開日】平成 24 年 7 月 26 日 (2012.7.26)

【年通号数】公開・登録公報 2012-029

【出願番号】特願 2011-275301 (P2011-275301)

【国際特許分類】

H 0 1 L 31/042 (2014.01)

H 0 1 L 31/054 (2014.01)

【F I】

H 0 1 L 31/04 R

H 0 1 L 31/04 G

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 11 月 20 日 (2014.11.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の光電変換素子を備える第 1 の基板と、
第 2 の光電変換素子を備える第 2 の基板と、
第 3 の光電変換素子を備える第 3 の基板と、
第 1 の分光デバイスと、
第 2 の分光デバイスと、
を有し、

前記第 1 の光電変換素子は、前記第 2 の光電変換素子と対向して配置され、
前記第 1 の基板と、前記第 2 の基板と、前記第 3 の基板とは、略コの字状に配置され、
前記第 1 の基板と、前記第 3 の基板とは、前記第 1 の分光デバイスにより筋交い状に固
定され、

前記第 2 の基板と、前記第 3 の基板とは、前記第 2 の分光デバイスにより筋交い状に固
定され、

前記第 1 の分光デバイスは、入射光の一部の波長帯域の光を前記第 2 の光電変換素子に
向けて反射する機能を有し、

前記第 2 の分光デバイスは、入射光の一部の波長帯域の光を前記第 1 の光電変換素子に
向けて反射する機能を有し、

前記第 3 の光電変換素子は、前記第 1 の分光デバイス及び前記第 2 の分光デバイスの透
過光を受光する機能を有することを特徴とする光電変換装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記第 1 の光電変換素子は、第 1 の材料を用いた光電変換層を有し、

前記第 2 の光電変換素子は、前記第 1 の材料とは異なる第 2 の材料を用いた光電変換層
を有し、

前記第 3 の光電変換素子は、前記第 1 の材料及び前記第 2 の材料とは異なる第 3 の材料
を用いた光電変換層を有することを特徴とする光電変換装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 において、

前記第 1 の分光デバイスと、前記第 2 の分光デバイスとは、350nm 以上 2000nm 以下の波長帯域において、反射率が 80% 以上となる波長帯域が異なることを特徴とする光電変換装置。